

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



2018年
3月号



【市民活動にこの人あり】第24回
透析患者さんが書いてくれた額を
指す大和市腎友会の森英志さん。

あの手この手のマークの間のSは、solution(解決)のSです。

第128号 2018年3月10日 大和市民活動センター 拠点やまと発行



昨年12月号から今号まで第10回やまと国際アートフェスタ入賞作品を掲載しています。今回(2017年)のテーマは「みんな、つながれ！世界と、未来と、友だちと」です。

インターナショナル賞『空の上でみんなであいさつしよう』

大野原小学校5年 ウーサンサン／中国

「受賞してとてもうれしかったです。来年も受賞するように頑張ります。」

4月2日(月)から 旧図書館に移転して新スタート！

いよいよ市民活動センターは、青少年センターやシルバー人材センターとともに旧図書館に移転し、4月2日(月)から、市民活動の新拠点として新しいスタートを切ります。

会議室料金・印刷料金・ロッカー料金・利用時間・電話番号・メールアドレスは従来と同じですが、変わる主なポイントは、中面にまとめておきましたので、ご覧ください。

大和駅から北へ徒歩7～8分と少し遠くなりますが、新しくなったセンターを、是非ご利用ください。なお、移転先の住所は、**大和市深見西1-2-17** (〒242-0018)です。





3月4日(日)に
現センター最後の

登録団体交流会を
開催しました!

↑ 内田さんの指導で笑いヨガを全員で体験

3月4日の日曜日、大和市勤労福祉会館ホールで現センター最後の登録団体交流会を開催しました。2人でジャンケンをして勝った人が名刺を渡し3枚の名刺を渡しきった人から席にすわるゲームでスタート。登録団体の活動PRの後、内田哲世さん指導による、笑いと深呼吸を組み合わせた健康法「笑いヨガ」の体験を行いました。うそ笑いでも脳はだまされるそうで、みんなその効果のほどを実感。

その後、日本で初めてエベレストを含む8000m座3座連続登頂を目指す松下沙織さんのお話をうかがいました。4月10日に出発し7月帰国予定だそうです。そして、大和ファミリーリコーダーアンサンブルの演奏を楽しみ、最後はラッキーさんの多彩な大道芸で締めくくりました。日頃知り合う機会の少ない団体同士だけに新しい出会いもあり、有意義で楽しい交流会となりました。

●交流会の主な内容

名刺交換ゲームで席決め

①登録団体の活動PR

②笑いヨガの体験

③松下沙織さんのお話

④大和ファミリーリコーダーアンサンブル演奏

⑤ラッキーさん大道芸



▲ヒマラヤのスライドも多数拝見しました



▲ヨガインストラクターでもある松下さん



▲活動PRタイムで話をする大和映像サロン会長

新市民活動センター <変わる8つのポイント>



建物の1階部分は、旧図書館のフローリングをそのまま活用していますが、2階部分はカーペット敷きになります(写真は2階の部室前)。なお、新市民活動センターは、**真っ赤な壁面**がシンボルカラーになります。

1. 全51の「部室」が設置されます(写真参照)。まだ多少空室もあります。
2. 市民が誰でも自由に使える広い市民交流スペースができます。
3. 日曜日でも会議室は使えるようになります(当センターはお休み)。
4. 毎月第3月曜日は施設点検日で、部室も含め全館休館となります。
5. 多目的ルームは、読み聞かせ用階段スペースがあり、広くなります。
6. より広い第2会議室(同料金)ができ、部室の優先予約後なら使えます。
7. 無料駐車場はなくなりますが、すぐ北側にコイン式駐車場ができます。
8. DM便の取次は継続しますが、「コピー」サービスはなくなります。

透析患者と会を支えて17年

【市民活動にこの人あり】第24回

NPO法人大和市腎友会 森 英志 さん
前事務局長

「もの言わぬ臓器」といえば肝臓が有名だが、腎臓も病の自覚症状が出にくく、気づいたときは人工透析が必要になることも珍しくない。そうすると、寝たまま4～5時間の透析を受け、週3回の病院通いが不可欠となる。患者の高齢化も進み、外出介助はまさに生命線。透析患者は全国に32万人。大和市にも推定500人ほどいる。そんな患者に寄り添い、NPO法人大和市腎友会として、通院や生活を支えているのが森英志さんだ。

森さんは1939年横須賀の生まれ。3歳から瀬谷で暮らし中2のときから大和市民だ。人生の転機が訪れたのは、なんと高1のとき。中学の頃から友人たちと地元の教会で遊んでいたことから、自然と聖書の教えなどを知る機会が増え、自らの意思で洗礼を受けた。今でも「あれ以来、生き方が変わった」と振り返る。経済的事情から大学進学は断念。当時の電電公社に就職したが、20歳の頃、がんで入院し余命3カ月と言われていた教会の先輩から若手3人が呼び出された。「あなたたちが未来を担い、私たちの精神を受け継いでいてほしい」と逆に励まされた。生涯忘れられず心に刻まれている。

こうして、人や社会に無償で奉仕する精神が身についていった。合唱の素晴らしさに触れ、趣味としてグループで歌うようになったのも教会を通じてだった。就職後はもちろん、定年後も聴覚の病気で引退を余儀なくされるまで、男声合唱で施設訪問や地方公演などの活動を続けた。

61歳で退職後、たまたま「リベルタ」で送迎ドライバー募集を知り応募したのが腎友会との出会いだった。2001年にNPO法人化し、外出介助を事業化させたためだ。その2年後

には、森下記念病院が患者の送迎ができなくなったことを受け、事業をさらに本格化させることとなり、ドライバーから事業担当に指名されたのが森さんだった。以来、福祉車両導入などのために、多数の助成金・補助金への応募や私募債募集など、あらゆる方法で資金調達に長年奔走。その甲斐あって8年後には黒字化でき、いまでは福祉車両12台とセダン6台の計18台で、24085件（2016年度実績）もの送迎を担っている。大和市との協働事業も、2004年から始め、この4月から5期の3年目（通算15年目）となる。

「人工透析は実は老廃物だけでなく必要成分も除去しやすく、心臓への負担も増えるなど弊害があります。近年は腎不全になる方の6割が糖尿病から合併症のリスクも高く、患者は日常生活も不安が絶えません」と森さん。昨年10年以上続けた事務局長は引退し、後任も決まったが、「これまで多くの先輩のおかげで腎友会はやってこられた。その努力を後世に伝えるべく『社史』的なものをまとめたい」と森さんなりの終活中。中央林間地区社協の会長も務めつつ、透析患者はもちろん、腎友会をも支える日々は、いまま変わることはない。



送迎ドライバーに安全講習をする森さん



イベント・募集情報



フォーラム認知症カフェもつともつⅢ 支え合い“なじみの関係”を続けよう

フォローし合えば認知証になっても住み慣れた場所で安心して暮らしていけるはず。みんなの居場所について考えます。

日時：3月16日(金) 17:30～20:30 (受付16:45～)
会場：横浜情報文化センター6階ホール(日本大通り駅直結)
内容：講演/井上義臣さん(グループホーム管理者)
実践報告/「ご近所さん会」加世田恵美子さん他3件
参加者ミングループワークと交流タイム(20:30～50)あり。
会費：1000円(14:00からのボランティアは参加費無料に)
主催・申込：市民セクターよこはま info@shimin-sector.jp

戦場カメラマン渡部陽一講演会 世界からのメッセージ～平和と命の大切さ～

講演会では、戦場で生活している人々の絆や人間が持つ愛の深さや命の大切さなどを、写真とともに伝える予定です。あわせて、第2部・第3部として、超絶ギタリストのイルヴィン・コージ氏や大和西高校吹奏楽部の演奏も楽しめます。

日時：3月18日(日) 13:30～(13:00開場)
会場：大和市文化創造拠点シリウス メインホール
会費：大人2500円 高校生以下1000円(全席指定)
申込：FAX 046-204-8141(名前・住所・連絡先を記入)
主催：(一財)天文郷芸術文化財団 共催：(一社)大和の心

お酒の問題でお困りの方へ アルコール依存症の回復体験談ほか

「感謝～手に入れた新しい生き方～」と題して、お酒の問題でお困りの方・家族・関係者向けの講演会が開催されます。

日時：3月18日(日) 10:00～16:30
会場：横浜市健康福祉総合センター4階ホール
内容：支援に取り組むソーシャルワーカー講演/稗田里香氏
(14:00～14:30)
A Aメンバー20名による回復の体験談
会費：無料(申込不要・途中出入り自由)
主催：A A横浜地区の集い実行委員会

パソコン初心者も慣れている人もOK パソコンでカレンダーを作ろう!

講師が直接指導しながら、パソコンの図形をうまく使って、季節の絵を書き、カレンダーを作ります。就労移行にご興味がある方は、是非ご参加ください。

日時：3月23日(金) 13:00～
会場：就労移行支援事業所 ミライでらす大和センター
大和中央2-3-19 「エスト・ビルディング」5階
※大和駅から西へ徒歩3分
会費：無料(要予約申込)
主催・申込：ミライでらす大和センター TEL046-240-1967

